

ブドウの花穂整形器

ブドウの花穂（かすい）整形では、花振るい（生理的落花）防止、品質安定や果房の形を整えるために、開花期の花穂から不要な副穂や支梗を取り除きます（図1）。花穂整形は高品質果実生産に欠かせない作業ですが、作業適期は開花期のごく短期間に限られ、さらに、新梢の誘引、摘心、ジベレリン処理、薬剤散布など他の作業と競合します。また、棚下で腕を上げた状態でハサミや指先を使うため、肩、腕、手への負担が大きく、省力・軽労化技術が求められています。（独）農研機構果樹研究所では、簡単な操作で、短時間に花穂整形ができる器具を開発したので、その概要を紹介します。

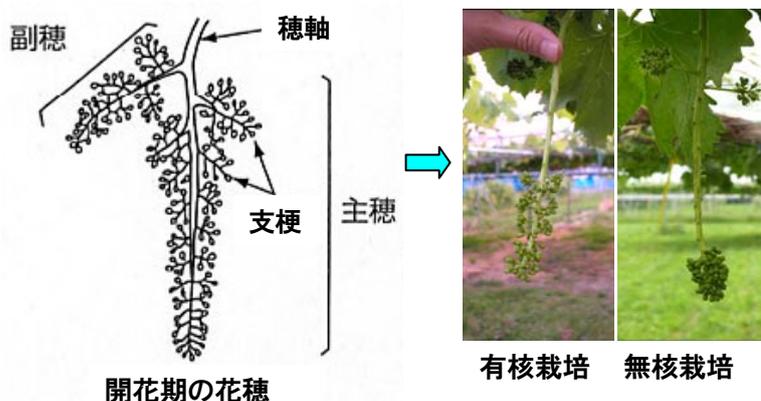


図1 開花期の花穂（左）と整形後の花穂（右）

☆ 技術の概要

1. 花穂整形器は、手のひらサイズで、一对の半円形の切り刃が付いています。切り刃の大きさは、直径7mm、高さ5mmで、下に刃先があります。この切り刃で花穂上部の穂軸を挟み込み、連結板で本体を固定します。切り刃を穂軸に沿って下方向に動かすことで簡単に支梗を切り落とすことができます。副穂は、先端の押し刃を使用して取り除きます（図2）。
2. 花穂整形器を使用すると、従来のハサミを使った場合に比べ、作業時間を30～40%に短縮できます。



図2 花穂整形器（左）とその使用例（右）

☆ 活用面での留意点

花穂整形器は、「ラクカット」の商品名で日本園芸農業共同組合連合会を通して市販されています。詳細については、（独）農研機構果樹研究所ブドウ・カキ研究拠点ブドウ・カキ研究チーム（電話：0846-45-4754）まで、お問い合わせください。（農林公庫 技術参与 後藤 明彦）